



<http://u-40.seesaa.net/>

第62号

平成20年10月1日

発行責任者

綾瀬市商工会青年部  
部長 藤井 信一

《《情報委員会》》

委員長 大久保 貴正

## 第33回綾瀬市商工会青年部花火大会盛大に開催



8月23日(土)、夏の最大のイベント、第33回綾瀬市商工会青年部花火大会が開催されました。

当日は朝からあいにくの曇り空。予報では、夜になるにつれ降水確率が高くなるという、まさに花火泣かせの天気。

部員の表情にも、何処と無く不安の影が写ります。しかし、雨の予報などには負けずに準備を行います。「数年前にも天候に恵まれない年があったけど、花火を打ち上げる時はバッチリ晴れたじゃないか！」

まるで自分達に言い聞かせる様に、準備の為に奔走します。

今年の花火大会で、事業委員会が特に力を入れていたのが会場警備です。昨年までの花火大会では予測出来ないトラブルを未然に回避すべく、警備の増員、パイロンの設置、東山公園等の花火観覧場所の増設など、色々な面で頭を悩ませていました。また、大きく問題視されていたのが会場を二分する4車線道路です。今年は交通量も増加し、警備のプレッシャーも大きくなります。

やがて午後になり、会場では恐れていた事態が。雨です。粒はまばらですが、見渡す限り空には雨雲が。止む気配はありません。

それでも定刻になると、部員たちは警備のために各自の持ち場につきます。来場されるお客さまからは幾度と無く「花火やるの?」と確認をされました。その都度、「やります!」と答えるものの、花火が綺麗に映えるのか。お客さまの期待に応える花火が上げられるのか。一番不安だったのも部員たちでした。

夜になり、打ち上げのカウントダウンが行われます。

結局、時間までに雨が止む事はありませんでした。

打ち上げが始まると会場からは「あー」と言う落胆の声。雲により花火が遮られ、美しさが半減しています。

しかし、時間が経つにつれ、空に低くかかっていた雨雲が風に流され、花火は美しく映えるようになりました。夜空を彩るスターメインもばっちりです。美しく開いた花火を見られたことにより、観客の歓声は次第に大きくなり、期待は花火大会の目玉である超巨大な尺五寸(15号)玉へ。

しばらくの沈黙の後、「ヒュ〜〜ッ!」と打ちあがった尺五寸玉はどんどん空を駆け昇り、なんと遙か上空の雨雲の中へ。そして「ドーン!!」雨雲が赤く光り、雷のような轟音が鳴り響きましたが、せっかくの花火の咲く瞬間は見る事が出来ませんでした。

「あー」「もったいない」観客からはまたもや落胆の声が。しかし、それ以上に残念な思いをしたのは、やはり部員たち。それでも花火の打ち上げはまだ続きます。

綾瀬市の花火大会のもう一つの目玉は、ラストを飾る2箇所同時のスターメインと大玉の乱れ打ちです。低めの位置で打ち上がるスターメインと、そのすぐ上空に上がる大玉。こちらは観客、部員の期待を裏切らずに夜空を美しく彩ります。この瞬間ばかりは、降り続ける雨のことも忘れ、見入っていたに違いありません。

花火の後の静寂が夜空と会場を包みます。そしてどこからともなく拍手が沸き起こりました。



明けて24日早朝。しつこく降り続ける雨の中、打ち上げ場所の畑で花火のカス拾いが行なわれました。綾瀬高校、綾瀬青年会議所、吉岡工業会翔友会、そして市民の方々にボランティアでお手伝いいただきました。

今年は冷たい雨で足元が悪く、大変なカス拾いでした。ボランティアの皆様、並びに諸団体の皆様、ご協力頂き本当にありがとうございました。

## 花火大会 藤井信一部長よりお礼の言葉

本年の花火大会はあいにくの雨の中ではありますが皆様の多大なるご協力により無事に、また盛大に開催することが出来ました。来年、再来年と更に良い花火大会を行っていただけるよう、我々青年部としても努力して参りますので、より一層のご指導ご鞭撻の程、よろしく申し上げます。

## 花火大会 崎永政人事業委員長よりお礼の言葉

関係者各位、並びにご協賛頂いた皆様方のお力で、第33回綾瀬市商工会青年部花火大会を無事、開催することが出来ました。厚く御礼申し上げます。

今年の反省も踏まえ、来年の花火大会に向けて、より良い大会運営を目指し飛躍していきたいと思う所存でございます。皆様方のご支援、ご協力の程、宜しく申し上げます。

## 第33回綾瀬市商工会青年部花火大会協賛金のお礼

ご協賛頂きました企業の皆様、また、個人の皆様に改めまして厚く御礼申し上げます。有難う御座いました。

また、ルックあやせに未掲載、もしくは誤掲載されたご協賛者の方について、この場を借りて訂正させて頂き、深くお詫び申し上げます。

### ルックあやせ未掲載分 (敬称略・順不同)

#### ■500,000円以上の部

(株)日南

#### ■60,000円以上の部

ジョンソンコントロールズ(株)

#### ■30,000円以上の部

(有)デザインルーム・アート

#### ■20,000円以上の部

綾瀬酒販組合

#### ■10,000円以上の部

(株)産建

神奈川県民共済生活協同組合

熊田宣昭

コーポ高島メ子

(有)サトウキ製作所

(株)静岡中央銀行 綾瀬支店

バンビーノ

(有)渡井工務所

#### ■5,000円以上の部

居酒屋 ちゃぼ

#### ■物品協賛

重森建築

### ルックあやせ誤掲載分 (敬称略・順不同)

藤久さい店 5,000 → 藤久工務店 5,000

「あ行」(有)大都工業

→「た行」(有)大都工業 (だいとこうぎょう)

## 研修事業

# 熱血支店長来たる！

7月9日(水)、綾瀬市商工会館大会議室において、講演会研修、「熱血支店長来たる！！青年部魂に火をつける！！」が行なわれました。

今回は国民生活金融公庫厚木支店長、高田一富氏を講師にお招きし、「経営者とは、商工会青年部とはどうあるべきなのか？」という内容で、ご講義頂きました。



高田先生は長年、国民生活金融公庫の職員として各地の中小企業の実情を見てきた豊富な経験を活かし、地域貢献をモットーに行動派の支店長として経済団体や青年団体等での研修・勉強会において、数多くの講演を行っている方です。

国金の職員という、「お金の上手な借り方講座」の様な講義になると思っていたのですが、意外や意外、お客様に対する考え方、商売に対する考え方、商品に付加価値をつけて新たな市場を生み出す考え方などを、実際に成功した例を交えながら説明されました。

また、高田先生は豊富な経験を活かした講義のみならず、函館の観光大使としても、幅広く活躍されている方です。

「地域を支えるのは、大企業のサラリーマンでは出来ない。中小の経営者達がこうやって集まって、明日の地域の為に力を結集させている商工会のような組織が、地域を支えているのです。」と仰いました。

政府系金融機関の職員である高田先生は、一切の謝礼を受け取らず、すべてボランティアで各地を周り、こういう講義をされているそうです。それは、私たち青年部員のように、「地域に貢献する」と言う郷土愛に基づいたボランティア精神を持つ組織に共感し、志を同じくする若者に、少しでも多くのことを伝えたいからなのだそうです。

受講者達は、この講演会研修を通じ、地元を愛し、夢と誇りを語るような青年経営者として成長していくことを再認識したに違いありません。

# 主張大会出場者 大久保貴正君の言葉

## ・主張大会に出場して

主張大会とは何だと思いませんか？

原稿を書き、練習をして発表し、その優劣を競う。文章の得意な奴、頭の良い奴、人前であがらない奴が有利な文科系大会だと思いませんか？

いえいえ、そんなものではありません。

もっとも私はそれらに該当するイヤな奴ですが（笑）

運よく関東大会まで行った私が肌で感じた「主張大会」とは、今まで青年部に取り組んできた自分を振り返るだけでなく、生まれてからの自分を深く思い返し、地域の事、そして仲間との熱いつながりを再認識し、かけがえの無い仲間と郷土愛を感じさせてくれる機会でした。そして見出した答えの全てを、聞いてくれる仲間たちに伝える為の、人生でまたとない晴れ舞台なのです。

私は主張大会に出場し、その意義を深く感じ取りました。「主張大会なんていらないよ」「活動自慢大会」という声もありますが、その先にある自分探しの旅と、周りで支えてくれている人たちの大切さを教えてくれる、素晴らしい大会だと思います。

青柳商工会長をはじめ、商工会員の皆様には、多大なるご支援、ご声援をいただきまして、誠にありがとうございました。

お礼にもなりません、私の稚拙な主張でよければ何処ででも発表させていただきます。ただ、期限は暗記している3321文字を忘れるまでですので、あしからず。

## ・主張大会にこれから出場する方たちへ

3年前、私が入部して間もない頃に、笠間功治（現副部長）先輩が主張大会県大会を優勝し、関東大会へと勝ちあがりました。青年部としても、県大会を優勝するのは快挙であり、念願だったので、とても盛り上がっていたのを覚えています。全身を使って話し、伝え、叫び、訴えかける。その時私はとてつもない感動を覚えました。

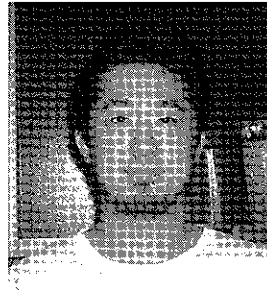
その笠間先輩の主張大会が関東大会で敗退し終わると同時に、私は当時の鈴木敦部長（現県青連理事）に、「是非来年は僕を出してください！」とお願いしに行きましたが、「大久保君はあと3年ぐらい活躍してから、出ような」とあしらわれてしまいました。

それから3年が経ち今年の5月、私は念願の主張大会の代表者に推薦されましたが、その場で断りました。

3年経ってわかったのです。主張大会に出場するには、まだまだ未熟だと。なにも主張出来る事の無い自分を恥ずかしく思いました。しかし、何も無い私がこうして県大会で優勝し、関東大会にまで出場できたのです。

これから出場される方は、自信を持って溢れる青年部魂を主張してください。主張大会はひとりで戦うものではありません。その時は、今年皆がしてくれたように、全力で力強く支えます。目指せ、全国大会！

# 新入部員紹介 ようこそ



小林太紀君

事業所名：(株)ことぶき工房

業種：建築大工

生年月日：1982年9月12日

血液型：B型

趣味・特技：ボウリング

Only few minutes to 読

綾瀬市商工会青年部元部長  
故 近澤紀久氏を偲ぶ

去る8月24日、当青年部第6代部長  
近澤紀久氏が逝去されました。

ここに生前のご功績とお人柄を偲び、  
衷心よりご冥福をお祈り申し上げます。

## 10月～12月 活動予定

10月26日（日） あやせ商工フェア

12月6日（土）～1月4日（日）

綾瀬イルミネーション イベントへの参加

## ..... 編集後記 .....

青年部の一大イベント花火大会も終わり、いつもはひと休みするところですが、今年は大久保君が主張大会で関東大会へ出場することになったので、部員一同、気の休まることの無い夏を過ごしました。ですがこういう一体感が青年部の良い所であり、これからの綾瀬を、力を合わせて盛り上げていく世代の結束の固さを物語っています。ちなみに大久保君が主張のテーマにしたブログも、当情報委員会で作成運営しております。関東大会まで行って宣伝してきたせいもあって、とても盛り上がっています。是非ご覧下さい。

## ■青年部ブログ（ホームページ）の見方

パソコンなら<http://u-40.seesaa.net/>もしくは、どの検索エンジンでも「綾瀬市商工会青年部ブログ」と入れればOK。携帯から見る場合は同じくアドレスを入力するか、「あぶろーち」表題にあるQRコードを読み込んでアクセスして下さい。

# 平成20年度 主張大会 総集編

## ●県央ブロック予選会

7月2日(水)、愛川町文化会館にて「平成20年度神奈川県商工会青年部連合会・第22回主張大会 県央ブロック予選会」が開催されました。

主張大会とは、「青年部活動に参加して」「地域貢献まちづくり」のどちらかのテーマに沿って10分間の演説を行ない、その内容、構成、表現力、発表態度が最も青年部員としてふさわしい者を決める、全国の商工会青年部全てが参加する最大のイベントです。

# 「スピーチ」



綾瀬市商工会青年部からは、全国大会を目指して大久保貴正君が出演しました。県央ブロック予選には愛甲、綾瀬、座間、寒川の代表4名の参加となりました。

大久保君は、情報委員長として青年部のブログを運営しています。検索サイト「Google」で「青年部ブログ」と検索すると検索結果の一番上に綾瀬市商工会青年部ブログが現れる高い評価、親の会社を継ごうと決心した熱い思い、青年部活動から地域経済へのアプローチの可能性を、10分間の中で主張しました。

結果は、安定した発表を見せ、4組中1位を獲得し、横浜で行なわれる県大会に出場することが出来ました。

## ●熱戦！県大会

そして7月15日(火)、ホテル横浜ガーデンにて「神奈川県商工会青年部連合会・第22回主張大会」が開催されました。県央ブロック予選からさらに主張の完成度を高め、満を持して望んだ大久保君ですが、特に緊張したり力んだりということは無く、とても「主張発表者」とは思えないほどリラックスしながら発表順を待っていました。

この県大会からは、主張発表者への応援タイムが設けられ、各ブロックとも趣向を凝らした応援合戦を行います。応援メッセージで「綾瀬市商工会青年部で唯一無二のガンダムオタク部員」として紹介された大久保君ですが、この応援メッセージが後にさらなる伝説を作ることになるとは、この時はだれも思っていませんでした。

応援タイムが終わり、大久保君は壇上へ。関東大会出場を掛けた大勝負の時ですが、ここでも大久保君はまったく緊張した素振りも見せず、完璧な主張発表を見せま

した。綾瀬応援団の期待は膨らみます。

そしてついに結果発表。発表は、上位から順にその所属単会名・氏名を呼ばれます。「最優秀賞は、あやせし・・・」のところで綾瀬応援団の歓声が！そうです、堂々の「最優秀賞」を受賞したのです。綾瀬は、2005年の笠間功治君、2006年の中元康喜君に続き、近年立て続けに関東大会進出を決めており、ここ数年のレベルアップは著しいものがあります。

これは主張発表者の努力はもちろんのことですが、なによりそれを応援し、支える部員たちの熱意も、大きく関係しているのです。その応援する部員たちの「熱意」が、関東大会で「具現化」することになるとは・・・。

## ●そしてついに関東大会へ

9月3日(水)、晴れ渡る青空の下、千葉県木更津市にある「かずさアカデミアホール」にて、「関東ブロック商工会青年部連絡協議会・平成20年度前期代表者会議・主張大会」が行われました。

大久保君の為に、綾瀬の青年部員やOBの方など12名が参加しました。そして平日にも関わらず、神奈川県の他の青年部から30名もの応援が駆けつけてくれた事は、大久保君にとってとても心強かった事と思います。

そしてついに大久保君の発表です。入場曲は「機動戦士ガンダム」のBGM。そして舞台に登場した大久保君はまさに「ガンダム」。青年部員たちの「熱意」と「技術」がガンダムシールドを完璧に作り上げていました！肝心の主張発表ですが、県大会の時よりも文章構成が洗練され、発表態度も一段と凄みを増し、これ以上無いと言うぐらい完成されていました。そして部員の誰しもが、入賞を確信する出来でした。

しかし残念ながら関東の壁は厚く、更に優れた発表の前に、入賞には至りませんでした。ただ大久保君は、大会の後「今の僕がやれる事はすべてやった」と、清々しい表情を浮かべていました。



最後になりましたが、様々な形で大久保君を代表とする当青年部の今回の出場を応援して下さいました皆様、本当に有り難う御座いました。皆様の応援、ご協力あってこそその輝かしい成績だと部員一同感謝いたしております。主張大会の詳しい様子は、青年部ブログ記事に載っておりますので、是非ご覧下さい。